

## ISNA-18 への参加

工学研究科 有機・高分子化学専攻 D1 瀧口あさひ

2019年7月21日-26日 札幌



### 出張目的

卓越大学院 GTR の融合研究のための情報収集及び発表を行う。

### 概要

今回私は、The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)という、新奇な芳香族化合物について最新の研究成果が発表される国際学会に参加した。上の写真は本学会のロゴであり、代表的な芳香族化合物であるベンゼンがモチーフとなっている。期間中は各分野を代表するような研究者による講演や、世界各国の学生によるポスター発表が行われた。

### 所感

国際学会であるので英語で講演が行われた。私にとって国際学会に参加するのは2回目であり、前回よりも内容が聞き取れるようになってきたと手応えを感じることができた。特に印象に残っているのは、数学との融合を試みた講演で、今までにない視点を得ることができた。

ポスター発表では、英語で自らの研究成果を発表した。質疑応答についても想定内の質問が多く、きちんと答えられたが、一步踏み込んだディスカッションはできなかった。今後、より一層英語の能力を上げて自らの研究成果を発表できるようになりたい。

本学会ではエクスカージョンも用意されており、小樽を訪問した。明治の洋風な建物が並ぶ、美しい街並みであった。また、北一ヴェネツィア美術館を見学し、繊細なヴェネツィアングラスの世界を堪能した(下の写真)。

本学会を通して、世界各国で構造的にも物性的にも興味深い芳香族化合物が合成されていることを改めて認識し、自らの今後の研究に対して非常に刺激となった。最後に、学会参加支援をして頂いた名古屋大学卓越大学院プログラム「トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム」に深く感謝致します。

